



革新期 1993年 ワゴンR



1993年9月（CT21S）

- 主要諸元（発売日 1993年9月3日）
- エンジン型式：F6A 型直3気筒 SOHC 12バルブ
- 総排気量：657cc ●ミッション：3AT/5MT
- 最高出力：55ps / 7,500rpm
- 最大トルク：5.8kg-m / 5,500rpm
- 車両重量：720kg～
- 発売当時価格：798,000円～（消費税別）
- 販売期間：1993年9月～現在



2007年2月 ステイグレイ発売

1993年9月デビューの“KING OF 軽自動車”。それまでの軽の常識を覆し「低車高で狭い」、「商用車派生車で乗り心地が劣る」という概念を覆し、『軽なのに広い!』、『元祖トールワゴン』を実現したスズキの最高傑作。1987年にはすでにプロトタイプが完成しており、市販化時期を探りながらリリース。『ZIP』という名前でデビュー予定でしたが、『ワゴンもある＝ワゴンR』の語呂の響きがよくワゴンRとなりました。当初、月販販売台数は4000台と見越していましたが、それを大きく上回る1万台以上のオーダーとなり、購買層は老若男女と幅広い層から支持を受け大ヒット。1994年には軽自動車で初のRJCカー・オブ・ザ・イヤーを受賞。2006年～2011年までの5年間にわたり年間軽自動車販売台数No.1の大記録を達成。2017年2月に6代目が誕生。海外専用車がインドでも大ヒットし、今日も愛され続ける名車です。



ワゴンR。
RJCカー・オブ・ザ・イヤー受賞
(1994年)



- 初代ワゴンR内装
- RJCカー・オブ・ザ・イヤーを受賞
- 初代ワゴンR ミニカー

発売当時は「クルマより楽しいクルマ」というフレーズでデビュー。初代は右後部ドアのない1+2ドアモデルも存在しました。2020年現在累計販売台数約445万台。セダンもあるけど『ワゴンもあゑる』という意味から名づけられました。Rは「Revolutionary＝画期的」と「Relaxation＝くつろぎ」それぞれの頭文字“R”を指します。「軽自動車の新しい「流れ」を作る新カテゴリーのクルマ」、「生活にゆとり感を与えるクルマ」と願いが込められました。

ワゴンR 歴代HISTORY 1993-2020



初代 CT21S/51S / CV21S/51S型
(1993年 - 1998年)



2代目 MC21S/11S/22S/12S型
(1998年 - 2003年)



3代目 MH21S/22S型 (2003年 - 2008年)



4代目 MH23S型
(2008年 - 2012年)



5代目 MH34S/44S型
(2012年 - 2017年)



6代目 MH35S/55S/85S/95S型
(2017年 - NOW)